

科目名	母性看護学概論	対象学年・時期	1年・後期
講師	専任教員	単位数・時間数	1単位・15時間
授業概要	<p>ディプロマポリシー2に基づく。 生物学的女性は、子を体内に宿し、産むことができる唯一の性である。「産む」「産まない」に関わらず、身体は次世代を妊娠・出産するために成熟していき、ある年齢に達するとその機能は衰退していく。その過程で女性特有の身体的・精神的・社会的特徴や健康課題があらわれる。その過程において女性が自らの性の特徴を知り、自身の健康・権利を守り、自己決定し行動できることが重要であり、看護としてそれらを支えている。母性看護は女性の性と生殖を支え、次世代の健全な育成にも関与する看護学である。この科目では、母性看護学の基本となるリプロダクティブヘルス/ライツの考えを理解し、母性看護学に関わる生命倫理や、性とは何か、子が健全な成長発達を遂げるためには何が重要かを学生が思考し、母性看護学の意義や対象理解へつなげる力を養う。</p>		
授業形態	講義、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母性看護の対象と意義が理解できる。 2. 性と生殖の健康/権利について考えられる。 3. 性と生殖における多様性について考えられる。 4. 命をめぐる倫理について考えられる。 5. 母性看護の対象を取り巻く環境について理解できる。 6. 次世代の健やかな成長・発達のために何が重要であるか考えられる。 		
授業計画	<p>1回目：母性看護の世界へようこそ</p> <p>2回目：各ライフサイクルにおける女性の特徴と健康課題</p> <p>3回目：性と生殖の健康とは</p> <p>4回目：性と生殖の権利とは</p> <p>5回目：性と生殖の多様性と命をめぐる倫理</p> <p>6回目：母性を取り巻く環境</p> <p>7回目：次世代の健やかな成長・発達のために 小児・母性合同授業 グループワーク</p> <p>8回目：次世代の健やかな成長・発達のために(45分) 小児・母性合同授業 プレゼンテーション</p>		
使用テキスト・参考書	ナーシング・グラフィカ 概論・リプロダクティブヘルスと看護 メディカ出版		
事前・事後学修 (学習を促進する学修)	解剖生理学や生物学で学習した女性生殖器、月経周期とホルモン、排卵・受精・着床・受精卵の細胞分裂等の知識を開講前に復習してください。事前学修・事後学修はその都度指示します。また、日頃から性や生殖、母子を取り巻く環境について、ニュース等の情報に意識を向けてください。		
評価基準・評価方法	筆記試験50%・課題レポート50%		
備考			